

感染症発生動向調査 病原体検出状況

栃木県保健環境センター及び宇都宮市衛生環境試験所では、感染症発生動向調査事業実施要綱に基づき、県内の医療機関において患者から採取された検査材料について、病原体の検出を行っています。

2022年1月から12月の病原体検出状況について、次のとおり報告します。

※本報告では、確定診断に至っていない疑い症例も含んでいます。

1 栃木県保健環境センターにおける病原体検査実施状況について

(1) 搬入状況

月別検体搬入状況を表 1-1 に示しました。

検体数は91件で、内訳は、全数把握疾病が88件(96.7%)、定点把握疾病が3件(3.3%)でした。全数把握疾病88件のうち、三類感染症が25件、五類感染症が63件となっています。

疾病別の内訳は、腸管出血性大腸菌(以下「EHEC」)感染症が25件(27.5%)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(以下「CRE」)感染症18件(19.8%)、急性脳炎13件(14.3%)が搬入されました。また、その他ウイルス性肝炎、急性弛緩性麻痺、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、風しん、無菌性髄膜炎の検体が搬入されました。

(2) 検査方法等

国立感染症研究所の病原体検出マニュアル及び厚生労働省通知の方法などを参考に検査を実施しました。

(3) 結果

月別病原体検出状況を表 2-1 に、疾病別病原体検出状況を表 3-1 に示しました。

ア 全数把握疾病

- ・EHEC 感染症患者由来検体からは、EHEC が 25 株 (026 : 8 株、0111:4 株、0115 : 1 株、0145 : 1 株、0157 : 10 株、0 型別不能 : 1 株) 検出されました。
- ・CRE 感染症患者由来検体からは、カルバペネマーゼ産生株が 1 株、カルバペネマーゼ非産生株が 17 株検出されました。
- ・急性脳炎患者由来検体からは、コクサッキーウイルス A 群 6 型が 2 件、ヒトヘルペスウイルス 6 型が 3 件検出されました。
- ・劇症型溶血性レンサ球菌感染症患者検体からは、A 群溶血性レンサ球菌 T 型別 9 型が 1 株、A 群溶血性レンサ球菌 T 型別不能が 2 株、B 群溶血性レンサ球菌が 1 株、C 群溶血性レンサ球菌が 1 株、G 群溶血性レンサ球菌が 2 株検出されました。
- ・急性弛緩性麻痺患者由来検体からは、コクサッキーウイルス A 群 6 型が 1 件検出されました。
- ・無菌性髄膜炎患者由来検体からは、ヒトライノウイルス遺伝子群 A が 1 件検出されました。

2 宇都宮市衛生環境試験所における病原体検査実施状況について

(1) 検査状況

月別疾患別検査状況を表 1-2 に示しました。

検体数は 14 件でした。内訳は、全数把握疾患が 14 件（三類：13 件、五類：1 件）でした。

搬入検体の疾患別の内訳は、EHEC 感染症が 13 件（92.9%）と最も多い状況でした。次いで、CRE 感染症が 1 件（7.1%）搬入されました。

(2) 検査方法等

国立感染症研究所の病原体検出マニュアル及び厚生労働省通知の方法などを参考に検査を実施しました。

(3) 結果

月別病原体検出状況を表 2-2 に示しました。また、疾患別病原体検出状況を表 3-2 に示しました。

ア 全数把握疾患

- ・ EHEC 感染症患者由来検体からは、EHEC 12 株（O26：3 株、O103：1 株、O111：1 株、O121：1 株、O84：1 株、O128：1 株、O156：1 株、O157：3 株）が検出されました。
- ・ CRE 感染症患者由来検体からは、*Enterobacter cloacae* が 1 株検出されましたが、主要なカルバペネマーゼ遺伝子（IMP 型、NDM 型、KPC 型及び OXA-48 型）は検出されませんでした。